

やさしいあゆつりじいじ

謹教小学校 四年 山田 彩生

わたしのじいじは、やさしくて、つりが大好きです。夏は伊南川であゆつり、冬はひばら湖でわかさぎつりと一年中つりをします。とくにあゆつりが好きで、あゆの時期になると今は、一週間に二回ほどつりに行きますが、昔は、仕事終わりに毎日、近くの大川に通ったそうです。じいじは、全国百の川であゆをつる百河川を目ざしています。すでに六十の川であゆをつったそうです。えんせい前はよくあゆつりの動画を見えています。初めての川であまりつれない時も、元気なおとりのあゆに変えたり、場所を移動したり、ねばります。宿に帰っても、地元のおとり屋さんから聞い

た情報を元にして、しかけを変えたり、つれる川を考えたりしてじゅんびをします。あきらめないじいじは、かつこいいと思いました。じいじは、元気なあゆをつった時は、小さいころから決まって、おふる場であゆつかみをさせてくれます。あゆは、ぬるぬるしているので、しっぽの方をつかむとすぐに、にげられてしまいます。その時にじいじが

「頭の下の方を持つといいよ。」

と、教えてくれました。それから、つかまえ方をおぼえて楽にできるようになりました。あゆは、ばあがやいてくれます。じいじが、ほぐした身に、しおやしょう油をかけてごはんにのせて食べる食べ方を教えてくださいました。その食べ方は、おいしいと思いました。今では、わたしの一番のお気に入り食べ方です。

わたしのばあばは、じいじがつりに行くと、電話で今日のつれ具合をかくにんして、夕飯の用意をします。その時にばあばは、じいじに、

「調子はどうですか。」

と、必ず聞いてから、お話を始めます。わたしがいるとじいじに代わってくれます。わたしは、いつも

「何びきつれた。」

と聞きます。そうするとじいじは、やさしく

「何びきだよ。」

と教えてくれます。ばあばは、最後に、

「気をつけて帰って来てね。」

といえます。わたしも早く帰って来てほしいなと思います。

じいじが庭であゆつりのじゅんびをしている時にわたしが、

「あゆつりに行ってみたい。」

と言ったらじいじは、にこにこしながら、

「まだできないからな。」

と言つて、買ったばかりの新しいつりざおを出して、わたしに持たせてくれました。あゆのさおは、すぐく長くて、初めて持ったけれど、重くあつかうのが大へんだと思うおどろきました。あの長くて重いつりざおを上手にあつかっていてあゆをつるじいじは、すごいなあと思いました。

じいじは、家にいる時、カルタやボード

ゲームをしていつもいっしょに遊んでくれます。工作がとくいで、ゴムでつぼうやうぐいすぶえ、こまなどを作ってくれます。今年は、わたしのために、畑にピーマンやパプリカ、大豆の苗をうえてくれました。毎日学校が終

わった夕方に、じいじといっしょに、水をあげます。大きく育つのが楽しみです。

わたしは、やさしいじいじが大好きです。あゆつりをしながら、ずっとずっと元気でいてほしいと思っています。勉強に運動に色々がんばって早く大きくなるから、じいじへ「わたしをあゆつりにつれて行ってね。」
